FOUJITA

パリに愛された画家
フジタ、
史上最大規模の
大回顧展！

没後50年

藤田嗣治展

FOUJITA : A RETROSPECTIVE
COMMEMORATING
THE 50TH ANNIVERSARY
OF HIS DEATH

2018.10/19(金)
12/16(日)

京都国立近代美術館
（岡崎公園内）THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KYOTO

◎休館日：月曜日◎開館時間：9時30分～午後5時
※金・土曜日は午後8時まで（入館は閉館の30分前まで）◎主催：京都国立近代美術館、朝日新聞社、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿◎後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本◎協賛：損保ジャパン日本興亜、大日本印刷、JR西日本◎特別協力：国際交流基金◎協力：東京美術倶楽部、日本航空、日本貨物航空

《カフェ》1949年 油彩・カンヴァス ポンピドゥー・センター（フランス・パリ）蔵

朝日新聞 NHK

明治半ばの日本に生まれた藤田は、80年を超える人生の約半分をフランスで暮らしました。20代後半にパリへ渡り、30代にはサロン・ドートンヌに作品が入選するなど、パリで華々しく活躍。太平洋戦争期は日本で作戦記録画を多数発表しますが、戦後はそれゆえに批判を招き、1949年、62歳の藤田は日本を離れます。パリにおける名声と祖国における誤解との落差は彼の生前には埋まらず、フランス国籍を取得した藤田は、欧州でその生涯を終えました。本年は、藤田が世を去って50年目にあたります。この節目に、日本はもとよりフランスを中心とした欧米の主要な美術館の協力を得て、質、量ともに、史上最大規模の大回顧展を開催します。「風景画」「肖像画」「裸婦」「宗教画」などのテーマのもとに、最新の研究成果を盛り込みながら、藤田の画業の全貌をとらえ直そうとする本展では、「乳白色の下地」による裸婦の代表作が一堂に会するのみならず、初来日となる作品や、従来あまり紹介されてこなかった作品もご覧いただきます。遥しく、真摯に、日本人として世界に生きた藤田の人生と芸術に、今こそ触れにいらしてください。

「藤田の代名詞」

藤田の代名詞「乳白色の裸婦」豊作の年の代表作。花柄の装飾模様の布を背景に、裸婦の美が典雅な趣を醸し出す。 ②

《タピスリーの裸婦》
1923年　油彩・カンヴァス　京都国立近代美術館蔵

「藤田の出世作」

愛用の品々を並べて持ち主の人間像をも表す。「乳白色の下地」がパリで注目を集めた藤田の出世作。

《私の部屋、目覚まし時計のある静物》 ④
1921年　油彩・カンヴァス　ポンピドゥー・センター（フランス・パリ）蔵

私は世界に日本人として生きたいと願う。

エコール・ド・パリを代表する画家・藤田嗣治（レオナール・フジタ、1886－1968）。「乳白色の下地」と繊細な描線に代表される彼の香り高い芸術は、今日まで多くの人々を魅了してきました。 ③

「藤田の作戦記録画」

《アッツ島玉砕》 1943年　油彩・カンヴァス　東京国立近代美術館蔵（無期限貸与作品）

アリューシャン列島のアッツ島における1943年5月の日本軍「玉砕」を描く作戦記録画。藤田の大画面による群像表現の到達点。

「日本初公開！」

《エミリー・クレイン＝シャド ボーンの肖像》 ⑤
1922年　油彩・銀箔、金粉・カンヴァス　シカゴ美術館（アメリカ）蔵

背景の銀箔と横長の画面サイズが日本の障壁画を思わせる。青いドレスに、黒い猫が映える。

【観覧料（税込）】

	一　般	大学生	高校生
当　日	1,500円	1,100円	600円
前売・団体（20名以上）	1,300円	900円	400円

＊中学生以下、心身に障がいがある方とその付添者は無料（要証明）
＊「没後50年 藤田嗣治展」の観覧券でコレクション展もご覧いただけます＊前売券は9月1日から10月18日まで期間限定販売
「チケットの主な販売先」オンラインチケット（公式サイト）、ローソンチケット（Lコード：55326）、セブンチケット、イープラス＊チケットの購入時に手数料がかかる場合があります

【お得なチケット情報】

早割ペア券 | 2枚組 | 2,000円

（一般のみ、1名様で2回使用も可）
2018年8月1日から8月31日まで
期間限定販売
（ただし、限定枚数完売次第終了）

猫に深い愛情を寄せていた藤田嗣治にちなみ
2,222セット
限定販売

【関連イベント】

記念講演会
「藤田嗣治の人間と芸術」
生前の藤田と交流のあった高階氏に、藤田の真髄をお話しいただきます
日　時：10月19日（金）／午後2時～午後3時30分
講　師：高階秀爾氏（大原美術館館長）

記念トークショー
「ファッションから藤田を読む―ベル・エポックから狂乱の時代まで」
林氏を聞き手に、ファッションから絵画を楽しむ新しい視点で、深井氏が藤田に迫ります
日　時：11月10日（土）／午後2時～午後3時30分
講　師：深井晃子氏（服飾評論家、京都服飾文化研究財団名誉キュレーター）
聞き手：林洋子氏（美術史家／本展監修者）
＊いずれも先着100名、当日午前10時より1階受付にて整理券を配布します

展覧会公式サイト　foujita2018.jp

◎表面①：《カフェ》　戦後、ニューヨーク滞在中の作だが、懐かしく恋しいパリの女性とカフェと、窓の外の街並を描く。額縁も藤田の手製。
①,②,③,④,⑤　藤田嗣治作
ⓒ Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI. Dist. RMN-Grand Palais / Jacqueline Hyde / distributed by AMF. © Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2017 E2833 ⓒ © Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2017 E2833 ⓒ © Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2017 E2833 ⓒ Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI. Dist. RMN-Grand Palais / Jean-Claude Planchet / distributed by AMF. ⓒ © The Art Institute of Chicago / Art Resource, NY © Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2017 E2833
＊会期中に一部展示替えがあります。出品作品は変更になる可能性があります。

京都国立近代美術館
THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KYOTO（岡崎公園内）

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町　電話：075-761-4111
ホームページ：http://www.momak.go.jp/

【交通案内】

【JR～バスをご利用の方】
◎JR・近鉄京都駅前（A1のりば）から市バス5番 岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ◎JR・近鉄京都駅前（D1のりば）から市バス100番（急行）銀閣寺行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ

【阪急電鉄・京阪電鉄～バスをご利用の方】
◎阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番 岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ◎阪急烏丸駅・河原町駅、京阪祇園四条駅から市バス46番 平安神宮行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ

【市バス他系統ご利用の方】
◎「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分◎「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分

【地下鉄ご利用の方】
◎地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分

【お車でお越しになる方】
当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車場施設のご利用をお願いいたします。岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引（1台につき1回）を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。

beyond 2020
文化力